

SISTER  
CITIES  
NEWS

# 姉妹・友好都市ニュース

International Friendship Association of Ibaraki

vol.46 2006.5.13

茨木市国際親善城市協会



民俗衣裳を身にまとい、初めてのもちつきに挑戦！（国際交流の集い・本文はP2～3）

## 目次

- 国際交流の集い、会員募集、会長交代のお知らせ ..... 2・3
- JICA研修員とのふれあい交流、姉妹都市活動室、青少年活動室 ..... 4
- 茨木カンツリー倶楽部青少年国際交流助成事業基金 ..... 5
- JICA研修員ホームビジット受入れ、実用日本語学習会、ホストファミリー募集 ..... 6
- 英語俳句コンテスト、小豆島町誕生、小豆島町宿泊施設利用補助制度 ..... 7
- 2006年度行事予定、2005年度国際交流の足あと ..... 8

# 2006年国際交流の集い

ドキドキの  
もちつき体験!

平成18年2月5日、茨木市市民会館ドリームホールで「2006年国際交流の集い」を開催し、市民と市内在住外国人等約180人が交流を図りました。

毎年恒例の外国人による日本語スピーチ大会では、いろいろな国の発表者がドキドキのスピーチ発表をしました。日本に来て不思議に思ったことや楽しかったことなど常日頃から感じている事を日本語で発表し、大いに盛り上がりました。

次は、半年間中国語を勉強してきたちびっ子達の中国の歌の合唱です。かわいい歌声で会場を和ませてくれました。

民族衣装の披露では、世界中の...とまではいきませんが、タイや中国、韓国、ケニアの民族衣装を身にまとった外国人の方々が民族衣装と、その衣装についてのエピソードを発表しました。

今回、はじめての試みで実施したもちつきでは、外国人や子ども達が杵を持ち、臼に向かっておもちゃをおもいっきりつきました。ついたおもちは、あんこやきな粉、大根おろしなどでみんなで食べ、日本の伝統文化を楽しみました。

## 参加しよう交流の輪

閻 紅



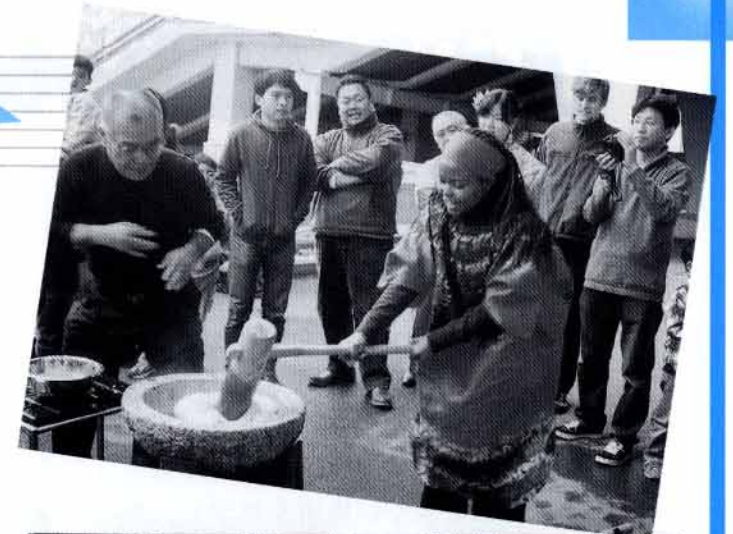
第17回国際交流会に様々な国からの外国人とたくさんの日本人の方々が参加し、広い会場は満たされました。外国人が5人スピーチをしました。皆は各視野から日々の生活に感じたことを流暢な日本語で発表しました。いろいろな体験談がユーモアとあいまって会場のみなさんの笑いを誘いました。外国人によるファッションショーではタイを始め中国、韓国、バングラデッシュ、日本などの民族衣装が披露され、説明もしてくれました。まるで世界は小さくなってみんなは近くなってきたようでした。会場の皆さんは始終温かい雰囲気でお話し交流されていました。

このような楽しい交流ができましたのも日本語教室の先生方のお陰と感謝致しております。

流暢な  
日本語に  
会場も  
ビックリ!



私たちは普段国際親善都市協会の主催の実用日本語教室に通っています。ここには私たち外国人を心から愛し、支援して下さる先生方がいます。この教室には来日の日々の長さのいかんにかかわらず誰でも参加できます。先生たちはただ日本語の知識のみならず日本の習慣や文化も紹介して、いろいろな行事を企画くださいます。ときには有名な所までも案内してくださいます。ときには悩んでいる子育てなど家庭の問題でも気軽に先生に打ち明けます。先生は熱心に相談に乗ってくださいます。日本語教室は私たち外国人にとってなくてはならない存在です。日本に来てまだ周りに馴染めていない外国人の皆さん、勇気を出して日本語教室の扉を叩いて下さい。ここを通して様々な行事に参加し、ほかの国の外国人や日本人との交流もできて、心の扉を開き、皆さんの日本での生活がもっと楽しめると思います。



## ● 会員募集 ●

本協会では、姉妹・友好都市をはじめ、国際交流に興味を持っておられる方々の入会をお待ちしています。

会員には、年2回発行する協会報の送付や、協会が催す交流行事のご案内をいたします。

主な活動内容

- ・国際交流の集い
- ・市民とJICA研修員との「ふれあい交流」
- ・姉妹・友好都市への市民親善訪問団
- ・中・高校生の「英語スピーチ大会」など

〈年会費〉個人会員(一般) 2,000円

(学生) 1,000円

〈申込先〉協会事務局(市役所南館8階

市民活動推進課内)

TEL 620-1604

## 会長交代のお知らせ

昭和55年の設立以来、国際交流の中心的組織として活動を続けてきた本協会は、会員の皆様のお力添えにより、昨年、設立25周年を無事迎えることができました。

この節目を機に、民間主導型の協会運営を目指すため、これまで歴代市長がつとめてこられた会長職に、前副会長の土方正英が就任しました。

今後とも、皆様の御指導、御支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。



会長 土方 正英



民族衣装披露



広い会場はいっぱい

## JICA研修員との楽しいひととき…

平成18年3月12日(土)に「ふれあい交流」を行いました。これは、市内にある独立行政法人国際協力機構JICA大阪国際センターの研修員と市民とで市内公共施設等を見学し、参加者相互の交流を図るもので、今回は、中央図書館と彩都を見学しました。

中央図書館の見学では、書庫や録音室など普段知ることのできない場所を見学し、熱心に説明を聞きました。中でも移動図書館「ともしび号」は、外国人にはめずらしかつたようで、質問が絶えませんでした。

彩都の見学では、彩都まちづくり館で彩都プロジェクトなどの説明を聞き、実際に彩都西公園などへ足を運びました。きれいな街並みに市民参加者、研修員とも感心し、「この街に住みたい!」という声も聞かれました。

その後のJICA大阪国際センターでの交流会では、市民参加者と研修員が合同で歌や踊りの発表を行いました。「幸せなら手をたたこう」の踊りを交えた合唱や、二人羽織の披露など工夫を凝らした発表で大いに盛り上がりしました。

## ふれあい交流



彩都の街づくりに興味津々



二人羽織にチャレンジ



歌を交えての楽しい発表

## Ibaraki Intercultural Network(IN)

### 姉妹都市活動室

姉妹都市活動室では、英語力や国際感覚の向上、異文化理解のため、ゲストスピーカーを招いて、英語によるスピーチを聞いたり、ディスカッション等を行っています。また、JICA研修員、阪大留学生や茨木市近隣に在住の外国人との交流を楽しんでいます。

興味のある方は、気軽に見学に来てください。

例会：第1木曜日 午前9時30分～11時30分  
第3土曜日 午後2時～4時

場所：クリエイティブセンター

※変更になる場合があるため、協会事務局へお問合せください。

年会費：正会員：2,000円(18歳以上)  
準会員：1,000円(中・高校生)

## We Are Friends!

### 青少年活動室

英語でクッキング、イースター、ハロウィンパーティーなど、開催月により違ったテーマについて、ゲームやクイズを使って、講師の久徳ウェンディさんと一緒に英語に親しむ「We Are Friends!」は、原則4・7・10・12・2月の第3日曜日(10月はハロウィンに近い日曜日)にクリエイティブセンターで行っています。

無料で参加できますので、英語を習ったことのない人もぜひ来てください!

対象 小学校4年生から中学校3年生まで

参加申込 開催月初めから協会事務局にて電話受付(定員30人程度)

(開催日の詳細は開催月の広報「いばらき」に掲載予定)

## 茨木カンツリー倶楽部青少年国際交流助成事業基金 青少年のスポーツ・文化交流事業などに助成

茨木カンツリー倶楽部青少年国際交流助成事業基金では、茨木市国際親善都市協会が主催・共催又は後援する事業や国外でのスポーツ・文化交流に参加する青少年(満24歳以下)または青少年団体などに助成をしております。

### 平成17年度の主な助成事業及び助成金額

#### ●茨木市・ミネアポリス市姉妹都市提携25周年 バントワリング訪問団の派遣【1,260,000円】

アメリカ合衆国ミネアポリス市で行われた茨木デー祝賀会にて演技披露したほか、水上祭トーチライトパレード等で演技を披露しました。また、ホームステイを経験することにより、アメリカでの生活を楽しましました。

#### ●第22回英語スピーチ大会【99,230円】

茨木市内在住、在学の中学生15人と高校生13人が出場し、中学生は指定暗唱文の発表、高校生は自由テーマでのスピーチを披露しました。優秀者には参加賞のほかトロフィー等が授与されました。

#### ●姉妹都市・友好都市との書画交換【22,270円】

茨木市内幼稚園・小学校・中学校の子どもたちの絵画や書を、姉妹都市・アメリカ合衆国ミネアポリス市、友好都市・中華人民共和国安慶市、国内姉妹都市・小豆島町に送付し、それぞれの公共施設等で展示されました。

また、姉妹・友好都市から送付されてきた絵画・書は、「市立幼稚園・小学校・中学校総合展」で展示しました。

#### ●姉妹都市交流キャンプ

##### (中学生リーダーキャンプ) 受入【24,180円】

茨木市と国内姉妹都市である香川県小豆島の小豆島町から中学1年生13人が茨木市を訪問し、銭原にある青少年野外活動センターで5泊6日のキャンプ生活を通して茨木市の子どもたちと交流を深めました。

#### ●ミネアポリス市・ルーズベルト高校での

##### ホームステイ体験入学【270,000円】

福井高校の6人がミネアポリス市のルーズベルト高校へ体験入学しました。

アメリカの青少年やホームステイ先のホストファミリーと交流を深め、さまざまな文化の違いを体験した貴重な訪問となりました。

## 平成18年度 国際交流助成金の申請を募集!

### 1. 提出書類

- ・事業概要等・旅費等の経費書類(見積書等)
  - ・所属団体等の概要・名簿等
- 詳しくはお問合せください

### 2. 申込 事業実施の60日前まで

### 3. 交付 基金運用委員会の選考を経て決定

### 4. 問合せ先 茨木市国際親善都市協会事務局



現地の子どもにバトンを教えました(バントワリング訪問団)



火加減はバッチリ(中学生リーダーキャンプ)

# JICA 研修員の ホームビジット受入

## 心の交流ができた1日

ホストファミリー 村田 美香

今回でJICA研修員のホームビジット受入は4回目になりますが、子供ができてからは初めてなので、どうなることかと少し不安でした。

スーザン・サラ・タリモさん、56歳、行政長官代理という役職のため、私はお堅いイメージを持っていましたが、私の両親と主人、長男幸志郎(2歳)の5人で迎えに行くと、笑顔で来られたのでホッとしました。

私は昼食がまだだったので、回転寿司に入ることにしました。お寿司もお箸も初めてだったので、「お箸の使い方を教えてほしい」と言われました。挑戦されていましたが、お寿司は手で食べてもいいことを伝えると、手で上手に食べておられました。生魚は抵抗があるようで、うなぎや焼サーモンなど少しずつ分けてみると、おいしいと食べておられたので、安心しリラックスして接することができました。幸志郎にも「幸ちゃん」と話しかけてくれたので、すぐ打ち解けて「スーザン」と呼べるようになり、家族

## Let's learn Japanese together!

### 实用日本語学習会

实用日本語学習会では、日本語を母語としない方を対象に、マンツーマンで日本語学習の支援を行っております。

また、学習支援者も同時に募集していますので、興味のある方は、ぜひ一度見学に来てください。

と き：《Thursday Class》1：30～3：00p.m.

《Friday Class》10：00～11：30a.m.

と ころ：8th Floor at City Hall Annex

ひ ゃう：1,500円 (テキスト代は実費)

れんらく：新山 (Tel.090-3868-1346)

JICA大阪国際センターのタンザニア地方政府改革プログラムコースの研修員16名が1月21日、市民の家庭でホームビジットを体験しました。今回は、受入れ家庭の村田さんの声をお届けします。

皆が好印象を持ちました。

ティータイムに出したシュークリーム、みかん日本茶を口にしてはおいしいと喜んでくれました。家族や仕事、国など色々な話に花を咲かせていたらあっという間に時間が経ちました。

夕食の中華鍋では飲茶や餃子、豆腐など全て口にして、「是非、タンザニアの家族に食べさせたい」と喜んでくれて、私達は何でも喜んで食べてくれるスーザンさんに驚かされっぱなしでした。

1日充実した日を共に過ごし、最後送り届けた時には、幸志郎を抱っこしてもらい握手で「Good-bye Susan!」と笑顔で別れました。

今回は、十分に日本の文化、食、生活を体験してもらうことができ、お互い満足のいく心の交流ができたと思っています。有難うございました。



村田さん宅にて(右から2番目がスーザンさん)

## ホストファミリーになりませんか?

協会では、姉妹・友好都市からの訪問者やJICA大阪国際センター研修員などを家庭に受け入れ、家族とともに生活するホームステイや外国の方を家庭に招いて交流を深めるホームビジット(日帰り)を通じて、日本での生活習慣をはじめとする様々な日本文化に触れられる機会を提供していただけるホストファミリーを募集しています。

ホストファミリーの登録に際して、制限はありませんが、善意かつ無償で責任を持ってお世話していただける方をお願いしております。

詳しくは、事務局までお問合せください。

# 英語俳句コンテスト入賞作品決定

今年も123句の英語俳句がミネアポリス市から送られてきました。英語俳句コンテストは、送られてきた俳句を、英語俳句専門の先生に選考・講評してもらい、全員に参加賞を(優秀者には賞状とともに)ミネアポリス市へ返送している事業です。英語俳句は国内外を問わず盛んになってきています。

今回のテーマはSMILE(微笑み)ですが、発想の豊かなものが見られました。選考の基準はSMILEを擬人的にとらえたもの、他の対象との取り合わせの面白いもの、またSMILE全体の持つ意味を際立たせたものが、優秀作品として選ばれております。

各部の優秀作品をご紹介します。

翻訳:吉村 侑久代(朝日大学経営学部助教授)



### 【幼稚園・小学生の部】 Laura Turner

Seem to dance,

Sunlight is shining harder

Because of my smile.

踊っているように

私が微笑んでいるので

日光がより強く輝く

### 【高校生の部】 Stephanie LaFayette

In crisp autumn air

Smiling at brilliant colors

Leaves fall at my feet

爽やかな秋の大気の中

鮮やかな秋の色合いに微笑みかけて

木の葉は足元に舞い落ちる

### 【中学生の部】 Gail Fridlund

The new baby bird

Pecks her way out of the shell

To see her mom's smile

生まれかけの鳥が

お母さんの笑みに触れようと

殻をつついて

### 【成人の部】 Jacqueline Baker

Lucky Lady Bug

Busy crawling leaf to leaf

Can she see me smile?

葉から葉へと

忙しく這い回る天道虫

私の微笑が見えるかな

# 小豆島町誕生!

茨木市の姉妹都市である小豆島の「内海町」が、平成18年3月21日に「池田町」と合併し、小豆島町が誕生しました。旧池田町は、有形無形の文化財が多く残る自然豊かな町です。観光地には、レクリエーション施設「小豆島ふるさと村」、東洋一の規模を誇る「小豆島孔雀園」などがあります。

合併によって、町のより一層の発展とともに、茨木市との姉妹都市交流がますます活発になることが期待されています。



## 市が小豆島町宿泊施設利用者に補助

姉妹都市小豆島町との交流促進を図るため、小豆島町の指定宿泊施設を利用する市民の皆さんに対し、市が宿泊費用の一部を補助する制度があるのをご存知ですか?

補助額(1泊)は、中学生以上3,000円、小学生1,500円です。1人につき年間(4月～翌年3月)2泊分まで補助されます。申請書の提出は宿泊日の10日前までとなっております。詳しくは、市民活動推進課へお問合せ、又は茨木市ホームページの「各課のご案内」から市民活動推進課のページをご覧ください。

## 2006年度 行事予定

本年も定例の事業のほか、茨木市から姉妹・友好都市への訪問、姉妹・友好都市からの来茨を予定しております。団員募集や行事参加については、その都度お知らせいたします。

なお、以下は現時点での予定であり、変更になる場合があります。

### 2006年

- 6月 ・ ミネソタ州コンコーディア大学日本語村へのスタッフ派遣  
(6~8月)
- ・ ミ市の高校生来茨
- ・ 小豆島町へ市民訪問団派遣

- 7月 ・ ミ市へ「英語学習ツアー」、「市民親善訪問団」、「キャンプ訪問団」派遣

- 9月 ・ ミ市ライバック市長来茨
- ・ JICA研修員との「ふれあい交流」実施

- 11月 ・ 「英語スピーチ大会」開催
- ・ ミ市テニス訪問団来茨
- ・ 安慶市へ市民親善訪中団派遣

### 2007年

- 2月 ・ 「国際交流の集い」開催

- 3月 ・ JICA研修員との「ふれあい交流」実施
- ・ 安慶市へスポーツ親善訪中団(中学生)派遣
- ・ 茨木カンツリー倶楽部「青少年国際交流写真展」の開催

## 2005年度 国際交流の足あと

昨年はミネアポリス市や安慶市との姉妹・友好都市提携周年事業に終始しました。

夏には、市の代表団を始めとする4団がミネアポリス市を訪問し、7月17日の「茨木デー」には茨木市民約70人が集まり、25周年を祝いました。

秋には安慶市で記念祝賀会が催され、茨木市から野村市長、笈田安慶市委員会委員長をはじめ市民32人が出席しました。

11月には安慶市とミネアポリス市からの訪問団が茨木市を訪れ、滞在中にそれぞれの祝賀会を開催しました。祝賀会には協会会員のほか過去の訪問団参加者などを招待しました。姉妹・友好都市交流の長年の歴史を反映して、安慶市との祝賀会では約200人、ミネアポリス市との祝賀会では約300人が集まる盛況でした。

その他、各訪問団、内海中学校とのスポーツ



水道部を見学するJICA地方自治体行政コースの研修員

(昨年はバスケットボール部、柔道部)交流、JICA研修員とのふれあい交流、英語スピーチ大会、JICA地方自治体行政コース研修員のホームビジット受入、国際交流の集いなどの定例事業も実施し、盛りだくさんのスケジュールの中で1年を終えました。

編集・発行

茨木市国際親善都市協会

事務局:茨木市市民生活部市民活動推進課内  
〒567-8505

茨木市駅前三丁目8番13号

TEL.072-620-1604 FAX.072-622-7202